

平成25年5月10日

各高等学校・中学校長殿
総合・国際教育・地歴・公民科・英語科等担当者殿

東京都国際教育研究協議会
会長 松本光正
(東京都立工芸高等学校長)
(公印省略)

東京都国際教育研究協議会 第1回研究協議会開催について
「来日したアウンサンスーチーが若者に語ったこと 民主主義と責任、自由と規律」

新緑の候、皆様にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。平素より、東京都国際教育研究協議会の活動にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

さて、第1回目の研究協議会を下記のとおりで開催したいと思います。ミャンマー（ビルマ）研究の第一人者の上智大学の根本敬先生をお招きして、現在のミャンマー（ビルマ）についてお話いただきます。日本と縁の深いミャンマーと今後どうかかわっていくか、皆さんと一緒に考えていきたいと思ひます。

1学期末のご多忙な折かと存じますが、参加をいただけますようお願い申し上げます。

記

- 1 日時：平成25年7月4日(木) 受付 14:30～
15:00～15:10 会長挨拶・講師紹介等 15:10～16:40 講演(約90分)
16:40～17:00 質疑応答(予め、ご質問がありましたら、参加票にご記入ください)

- 2 場所：東京都立工芸高等学校 会議室 (東京都文京区本郷1-3-9 TEL03-3814-8755)
JR・東京メトロ 水道橋駅前

- 3 講演の内容

テーマ「来日したアウンサンスーチーが若者に語ったこと 民主主義と責任、自由と規律」

4月に来日したアウンサンスーチーさんが、東京大学で480人の学生に向けて語った講演の内容を、彼女の思想の特徴と重ね合わせながら、ビルマの文化と歴史(特に近現代の歩み)、現在の政治状況、日本との関係について触れながら、わかりやすく話していただきます。

- 4 講師： 上智大学外国語学部教授 根本 敬 先生

1957年生まれ。ビルマ近現代史が専門。国際基督教大学教養学部卒、同大学院博士後期課程中退(文学修士)。1985～87年、文部省アジア諸国等派遣留学生としてビルマへ留学。東京外国語大学教授を経て2007年より現職。著書に『抵抗と協力のはざま 近代ビルマ史のなかのイギリスと日本』(岩波書店、2010年)、『ビルマ独立への道 パモオ博士とアウンサン将軍』(彩流社、2012年*高校生向け)、『アウンサンスーチー：変化するビルマの現状と課題』(共著、角川新書 2012年)、『ミャンマー・ルネッサンス 経済開放・民主化の光と影』(共著、コモンズ 2013年)他。

*根本先生は、都立秋川高校(全寮制)を1976年に卒業され、1980-82年に都立富士森高校で世界史教員をされたこともある都立高校に非常に縁の深い方で、今回のご講演も快くお引き受けいただきました。

- 5 申し込み先：問い合わせ先：

6月21日(金)までに (6月21日以降も受け付けますので、下記にご連絡ください)

学校名 学校電話番号・FAX番号等連絡先 教員氏名 教科を明記して、
下記担当者へ、メールかFAXでお申し込みください。

東京都立日野高等学校 高島みゆき email: 130704kougei@jafie.jp

FAX: 042-581-5835 (TEL: 042-581-7123)

*当研究会は、東京都教育委員会が認定する研究推進団体です。参加の服務につきましては、各校の判断になりますが、「研修出張」とすることができます。ご不明な点は上記までお問い合わせください。

参加申込書

7月4日(木)東京都国際教育研究協議会第1回研究協議会に参加いたします。

学校名() 連絡先()

氏名() 教科()

講師へのご質問など